

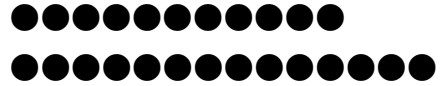
陳 情 文 書 表 (令和8年6月29日定例会提出)

陳情第24号

奈良市総合福祉センター機能強化に関する陳情

令和8年6月19日受理

陳情者



奈良市心身障害者・児福祉協会連合会

会長 安 井 清 悟 外6名

奈良市総合福祉センター存続が決まり2年がたちました。廃止から存続までの間、市議会の先生方には一方ならぬお力添えをいただきましたこと、本当にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、奈良市総合福祉センターはいろいろな障害者が集う奈良市障害者福祉施策の中心に位置する施設となっており、子どもを含め日々多くの障害者が利用しています。また、災害発生時の指定福祉避難所としての機能も併せ持つ大事な施設です。

しかしながら、建設から40年がたち、施設の機能低下が見られる状態です。それにも増して建物の耐震に関しても施設の強度は40年前のままとなっており、今後起こり得ると想定されている大規模な南海トラフ地震などが発生した場合は、施設そのものが耐えられるかどうかさえ分からない状況です。

また、福祉避難所としての活用を視野に入れた場合も様々な障害機能に即した備品などはそろっておらず、このままでは指定福祉避難所としての機能が果たせない施設になってしまう可能性さえあると考えられます。

奈良市行政当局から奈良市社会福祉協議会に10年の指定管理を任された2年前から私どもは、奈良市障がい福祉課、奈良市社会福祉協議会とともに「奈良市総合福祉センター在り方検討会」を続けてきております。また、それとともに奈良市社会福祉協議会職員と弊会で「福祉センター懇談会」も新たに1年前から開催しており、その中で最も差し迫った課題が、奈良市総合福祉センターの耐震化と指定福祉避難所としての機能強化でございます。毎回の会議でも必ず議題に上がりますが、何より多額の予算が必要と考えられるため、議題として上がってもセンターの耐震化や機能強化が実施されるには程遠い状態が続いています。

奈良市総合福祉センターは障害者が遠慮なく集まれる場所だけではなく、地域に住まれる方々にとっても利用頻度が高い大事な奈良市の福祉拠点です。

令和6年5月1日発行の「奈良市議会だより」にも「奈良市総合福祉センターの今後の在り方を再考へ」と題し、福祉避難所としての整備について前向きな議論を市議会の先生方からいただいております、私達もその一語一語に感謝した次第でございます。

どうか市議会議員の皆様方で奈良市総合福祉センターの耐震化と指定福祉避難所として十分な機能を持たせていただけますよう、ここに陳情申し上げます。